

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：イアン・ライズリー
 第 2550 地区ガバナー：太城 敏之
 事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142
 宇都宮グランドホテル内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



ロータリー：
変化をもたらす

会長：高木 茂 幹事：稲垣 政一
 事務局：(有)稲垣商事内 稲垣 政一
 〒325-0038 那須塩原市豊浦北町71-3
 TEL:0287-64-1062・FAX:0287-64-1751
 E-mail：wk857@waltz.plala.or.jp
 例会：毎週水曜日 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2801回 高木茂年度 第20回 会報 2018 01 24 司会 薄 孝明 君



会長挨拶 高木 茂 会長



年が明けたと思ったら1月20日は大寒(だいかん)でした。

二十四節気の一つで、中国では1年を二十四節気に分け、節の前日のことをすべて節分と呼びます。なかでも冬と春を分ける「立春」はとくに重要な日であり、やがて「節分」といえば立春(2月4日)の前日のことを指すようになりました。この考え方が日本に伝わり、日本古来の儀式である鬼払いの行事と合体して、日本独自の節分行事ができてきました。

この日、豆をまくのは季節の節目である立春を前にして、悪疫、邪気を退散させるためであります。また身体に染み付いた一年の厄、けがれを落とすためでもあります。その意味を込めて、炒った豆に、一身のけがれを集め「鬼は外」と唱えながら家の外にまいてしまうのです。

昔、まくものは穀物なら何でも良かったのですが、室町時代の頃から豆に決まったそうです。「まめ」が「魔目」につながることから鬼の目を打つために豆を使うようになったといわれております。

2月3日は節分、各家庭でおおきな声で「鬼は外」と唱えて豆をまき悪疫、邪気を退散させましょう。

以上で会長挨拶といたします。



幹事報告 稲垣 政一 幹事



● 高木茂年度第20回幹事報告

1. ガバナー事務所より、女性ロータリーアン会員増強のイベント「ロータリー・バレンタイン・コンサート」のチラシが 届いております。会員各位のレターボックスに投函いたしました。参加希望の方は1月末日までに幹事までご連絡ください。

出席報告 出席委員会 豊田哲司 君

(出席規定の免除会員数4名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 1月24日	37	30	7(4)	91.9%		
前回 1月17日	37	30	7(2)	85.7%	1	89.2%
前々回 12月27日	38	32	6(2)	89.5%	1	94.5%

2. 西那須野ロータリークラブ主催のIMは2月4日、日曜日となっております。交通手段は電車の利用となります。集合時間は黒磯駅に12時40分、出発時間は12時53分、切符を用意しますので、電車を利用される方は回覧します利用確認表にご記入願います。
3. 同じく西那須野ロータリークラブより会報が届いております。回覧しますのでご覧ください。



お客さま

宇都宮ロータリークラブ

会長 印出井 俊英 様
 幹事 飯村 悟 様
 会長エレクト 岡崎 善胤 様
 インターアクト委員長 熊本 勇治 様

- 宇都宮ロータリークラブ会長
 印出井俊英 様 ご挨拶



みなさまこんにちは。ただ今高木会長さんからご紹介頂きました、宇都宮ロータリークラブ会長の印出井でございます。電話等で「印出井（いんでい）」というのと、「スペルはどう書くんですか？」というようなことを聞かれるのですが、どうぞ見ての通り純粋の日本人でございます。音がなかなか通じにくいのですけれども、一度覚えて頂くと忘れられないという長所がございます。

本日は宇都宮のメンバー4人のために貴重な時間を割いて頂きどうもありがとうございます。本日お邪魔させて頂いたのは、タイへ消防自動車を送る件で、高木会長、稲垣幹事、大島会員はじめみなさまのご協力を頂き、1台消防自動車を送ることとなりました。宇都宮で3台ということで、合わせて4台を今年の3月から4月の頃にタイに送りたいと考えております。過日輸出証明書等もできあがり、順調に進んでいるということをおみなさまにご報告させていただきます。宇都宮で消防自動車を送るのは、一昨年に続いて2回目でございます。宇都宮としてはこれからも続けていく国際交

流の事業としたいと考えております。宇都宮地区全体では7クラブございますが、今回は宇都宮と黒磯両クラブの共同事業ということで進めていきたいと思っております。今日はそのお礼ということで参りました。みなさまのご協力により無事に進んでおります。

ありがとうございます。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

- 宇都宮ロータリークラブ会長エレクト
 岡崎 善胤 様 ご挨拶



みなさんこんにちは。宇都宮ロータリークラブ、今年度会長エレクトを仰せつかっております、岡崎善胤と申します。

黒磯クラブのみなさま方には、昨年より消防車寄贈の国際奉仕事業にご協力頂きまして、誠にありがとうございます。その寄贈に関わりまして、実は私どもは3年前からタイ、バンコクのパトムワンロータリークラブを通して寄贈しており、1年目は私どものクラブの事業として行わせて頂きましたが、今回の事業はグローバルグランド（GG）の補助金を頂戴して事業を大きくしてやろうということで計画をして参りました。黒磯クラブよりお預かりした一台も、宇都宮でグローバルグランドをチャレンジするというご協力を頂きました。今日はそのご報告をさせていただきます。

グローバルグランドが、地区のDDRは承認を頂きまして、それからTRF（The Rotary Fund）の方に申請をしましたところ、6つの重点課題というところの事業としては承認をいただけませんでした。ただしTRFからは、事業の内容は非常に重要なことである、ということで継続してほしいということではございました。最終的には承認を頂くことができませんでした。結果、グローバルグランドではなく、宇都宮クラブと黒磯クラブ共同の国際奉仕事業ということで行わせて頂くということになりましたので、そのお詫びとお願いに本日は出席をさせていただきます。

また、今年度のこの事業は3月の初頭に、タイ・バンコクのパトムワンクラブで贈呈式

を行おうと思っておりますので、どうぞ黒磯クラブの方にも一緒にご参加・ご出席頂ければ幸いです。そのこともお願いさせて頂きまして、ご報告とさせて頂きたいと思っております。本当にありがとうございました。



委員会報告 吉光寺 政雄 副会長

● 職業奉仕委員会 戸野俊介委員長



次回1月31日の例会は職場訪問です。那須ミッドシティホテルのレストランオールポワールにて12時点鐘となっております。バス等は出ませんので、各自お集まり下さいませようお願い致します。

● 会員増強委員会 福田逸男委員長



本年度は会員増強の目標が純増5名ですので、一層の努力が必要かと思っております。つきましては会員各位最低一名の推薦をお願いいたします。2月10日までにFAX又はメールにてご報告をお願い致します。

● SAA 和氣勝利委員長



3月7日に行います、東京ロータリークラブ例会訪問に関する出欠表を本日より回覧いたしますので、たくさんの会員の皆様のご参加をお待ちしております。



ニコニコボックス 石山桂子君



豊田哲司君

結婚祝いありがとうございました。

秋葉秀樹君

結婚祝いありがとうございました。

宇都宮RC印出井俊英会長

消防自動車の件では多大なご協力誠にありがとうございました。



卓話

● 鳥居輝一 会計



本日の卓話は会計の担当となります。

高木年度前半の会計処理はおおむね順調に処理の手続きが進んでおります。後半の会計はあえて付け加えますとニコニコボックス委員会と重複いたしますがニコニコへの皆様のご協力を早めに頂ければ幸いです。

さて、会計は黒磯ロータリークラブの規約にはないと思っておりますが3年在籍が常となっておりますので、高木年度で満3年となり卒業となりますが、次年度の会計長が誰になるか分かりませんがパソコンでの処理方法を引き継ぎたいと思っております。

これからの時間を副会計の薄会員に「剣道」のお話をお願いしてまいります。それでは宜しくお願い致します。

● 薄 孝明 副会計

みなさんこんにちは。

本日は、私の趣味である剣道についてお話させて頂きます。



その前に、改めて自己紹介させていただきます。昭和45年12月21日生まれの47歳 宇都宮市在住です。

平成5年3月に國學院大學を卒業し同年4月に栃木銀行に就職し越谷支店を振出し7ヵ店を巡り、平成25年4月に鶴田支店長、平成27年4月に越谷市の蒲生支店長、平成29年4月に黒磯支店長、3ヵ店目となり振出から10ヵ店目 現在に至っております。剣道歴は幼稚園から始め高校、大学と体育会で継続し現在42年目と、何とか継続しております。

幼いころからの目標であった剣道教士7段には、8年前の39歳で合格することができ 2年後の49歳の時に八段受審の資格を得ることができます。現在の八段審査の合格率は0.5%~0.8%と合格率の低い八段合格に向けて日々精進しておりますが、到底合格は非常に難しい状況です。しかし、目標を持って生活できる環境はとても刺激的で活力が沸いている状況です。

そこで剣道の称号段位について、簡単ではありますがご説明させていただきます。剣道には、初段から八段までの段位があり、現在では八段が最高段位となっております。

段位とは、どのようなものでしょうか。

初段は、中学生から取得することができます。中学2年生に二段まで取得することができます。その後、高校生で三段、大学生2年生20歳程度で四段を取得できます。20歳で四段を取得すると4年後に五段、5年後に六段、6年後に七段、10年後に八段と段位取得から取得段位の数字と同じ年数が経過しないと受審する資格が得られません。それまでは剣道に修練するということです。そして八段は七段取得後10年経過しかつ46歳以上となっております。これは全てストレートで合格した場合です。私は、七段取得が39歳でしたので2年後の49歳にならないと受審資格が得られないのです。

審査とは、どのようなものなのでしょうか。

五段までは、栃木県で受審し栃木県の七段以上の先生が、審査員となり合否を行っており、合格率も40%~60%と比較的高い傾向にあります。しかし六段以上は、全国レベルの審査となり合格率は一気に減少し、現在は六段で20%前後、七段は16%前後、八段については1%を満たさない0.5%から0.8%と、司法試験より難関となっております。私が七段合格した時は合格率12%でした。

ちなみに受審5回目でした。

審査には各段位の基準があります。

初段は、剣道の基本を修習し、技倆良なる者

二段は、剣道の基本を習得し、技倆良好なる者

三段は、剣道の基本を修練し、技倆優なる者

四段は、剣道の基本と応用を修熟し、技倆優良なる者

五段は、剣道の基本と応用に練熟し、技倆秀なる者

六段は、剣道の精義に練達し、技倆優秀なる者

七段は、剣道の精義に熟達し、技倆秀逸なる者

八段は、剣道の奥義に通暁、成熟し、技倆円熟なる者

着眼点は

初段から三段

正し着装と礼法、適正な姿勢、基本に則した打突、充実した氣勢

四段五段は

応用技の錬熟度、鍛錬度、勝負の歩合

六段七段八段は

理合、風格、品位

と言葉ではわからない基準が定められています。この基準の意味は、なかなか理解できず、身に着けることも難しいことだと私自身は感じておりますが、理解できるように稽古し頭と体を使い勉強しております。

剣道を精進している方々は、この段位取得そして、最高峰である八段を目指し目標を持って取り組んでいる先生がほとんどであり、日々稽古に取り組む先生方の姿勢態度に刺激を受け、そして尊敬しているところです。まさに剣道は、「先生師匠から教わり後輩教え子から学ぶ」姿勢が重要であることも教えて頂いたことです。

次に称号です。

この称号は、段位に優先するものであり錬士・教士・範士があります。六段取得後1年後に錬士、七段取得後の2年後に教士、八段取得後8年以上経過し範士に、受審することが可能となります。もちろん取得する前の称号を有していることが条件となります。

称号にも段位と同様基準があります。

錬士は、剣理に練達し、識見優良なる者

教士は、剣理に熟達し、識見優秀なる者

範士は、剣理に通暁、成熟し、識見卓越かつ、人格徳操高潔なる者

とこれまた理解に苦しむ基準が定められています。

このように審査には、いろいろな基準があり称号段位を取得することは難しいものになってます。

審査はどのようにやるのでしょうか。

剣道実技と日本剣道形があります。実技に合格し日本剣道形となります。六段以上からは、やり方は同じであり受審者同士4人一組となり、2人の受審者と1人2回を、六段七段は約1分30秒、

八段は約2分30秒で行います。

審査員は、六段七段は6人で行い4人以上が○を付ければ合格、八段は一次審査があり一次審査は六段七段同様の審査員であり、一次審査が合格すると二次審査となります。二次審査は審査員が9人になり、6人以上が○を付ければ合格となります。審査は公明正大に、そして厳格に行われるため、どこの誰が受審しているかわからないように名前が書かれているゼッケンを外し、番号を付与し行われます。また、審査員と接触しないように、挨拶もすることなく話すこともできません。受審者、審査員、見学者も真剣そのもので緊張感があります。

審査はどこを見るのでしょうか。

先に述べた、各段位の基準に満たしていることが条件ですが、所作、着装、礼法、姿勢、気迫はもちろんですが私自身の考えは、竹刀の攻防攻め合い、自分自身で攻め相手を下がらせ下がることを打突する、相手の攻めに下がらないで攻め返し、相手が打とうとする瞬間を打突する、足さばき等、精神的な強さと美しさが要求されると思います。当然、打突した時の強度、一本になる打突ができてのことです。相手の心と身体を動かさなければならぬのです。

私は、未だ心と身体が動いてしまい、いつも打たされ打たれている状況です。やはり、人間形成ができて、技術がないと合格することは難しいと感じております。

六段七段の実技審査、八段の二次実技審査に合格すると、日本剣道形の審査を行います、形審査も剣道の基本となる呼吸や間合理合が、熟達されていないと合格できません。

ちなみに全国に八段先生方は約700人程度いらっしゃいます。日本の剣道人口100万人超を考えると、一握りとなります。栃木県では13人の八段の先生がいらっしゃいます、そして範士は2人と僅かであります。

剣道には「剣道の理念」があります。

『剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である』

剣道を修練するには剣術を磨き、常に修練鍛錬していくものであり、剣道の真価が認められ心身ともに鍛錬することにより精神面、丈夫な身体、

相手を敬う気持ち、礼儀を重んじ、感謝する気持ちを習得する人間形成という大きな目標を持っていると私自身考えます。

私自身、まだまだ剣道も未熟であり人間形成ができていない人間であり、八段合格は夢の夢であります。日々挑戦すべく、稽古に精進しております。

剣道を通じて、学んだことは「礼に始まり礼に終わる」礼儀を重んじること、剣道は必ず、相手と試合稽古を行なう時は、礼を行ないます。それは真剣勝負であることから、相手を打つ打たせて頂くことに感謝し、そして最後にまた、真剣勝負をさせて頂いたこと、打たせて頂いたことに感謝します。礼を正すことにより自分自身の心や態度も正せることになると思います。

また、常に学べる剣道場があることです。現在私は、銀行の支店長をさせて頂いておりますが、支店長という立場になると支店の中では誰も、叱ってくれたり、強い指導は行ってくれません。そんな中で仕事をしていると、いつの間にかに自分自身が偉くなった気持ちになったり、横柄な態度や自分勝手な人間になってしまうのではないかと不安になります。しかし、道場に通り先生方に稽古をお願いすることで、幼いころからの先生方が剣道についての指導と人間形成の指導してくれるのです。そのような環境があることにより、まだまだではありますが、謙虚さと感謝する気持ちが大事であることを確認できるのです。やはり人間、叱ってくれる先生先輩方がいらっしゃることは、非常にありがたいことと感じております。

今後も日々、人間形成ができるように先生上司先輩方を敬いそして、色々なことを教わり学ばせて頂き、後輩部下達に指導伝達し、そして後輩部下からも学ぶ姿勢を持って精進していきたいと思っております。また、地域貢献できるよう努力して参りますので、今後ご指導の程、宜しくお願い致します。

最後に、皆様の中で、少しでも剣道に興味のある方はいつでもお話ください。私で解ることであれば、お話していきたいと思っております。そして、剣道は何歳からでも、いつでも、できますのでお気軽にお声かけ下さい。

御清聴ありがとうございました。

1月17日欠席(敬称略)
秋葉秀樹・黒澤洋一・荒井昌一・田中徹
津久井誠二・泉道夫・豊田哲司

1月24日欠席(敬称略)
佐藤博・大森貞男・荒井昌一・鈴木隆子
平山博・泉道夫・月江寛智

前回 1月17日分メイクアップ(敬称略)
津久井誠二
前々回 12月27日分メイクアップ(敬称略)
植竹一裕

次回例会

平成29年1月31日
点鐘12時 会場

担当 職業奉仕委員会・職場訪問
那須ミッドシティホテル

近隣クラブ例会日

○ 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
○ 木曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
○ 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○ 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
○ 木曜日 那須/ホテルエビナール那須 0287-78-6000
○ 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：田中 徹・藤崎善隆・鳥居輝一